

昔おきなわ風景探索

沖縄県公文書館所蔵の写真と空中写真

1961年1月



地図を表示

Q. どこでしょうか？



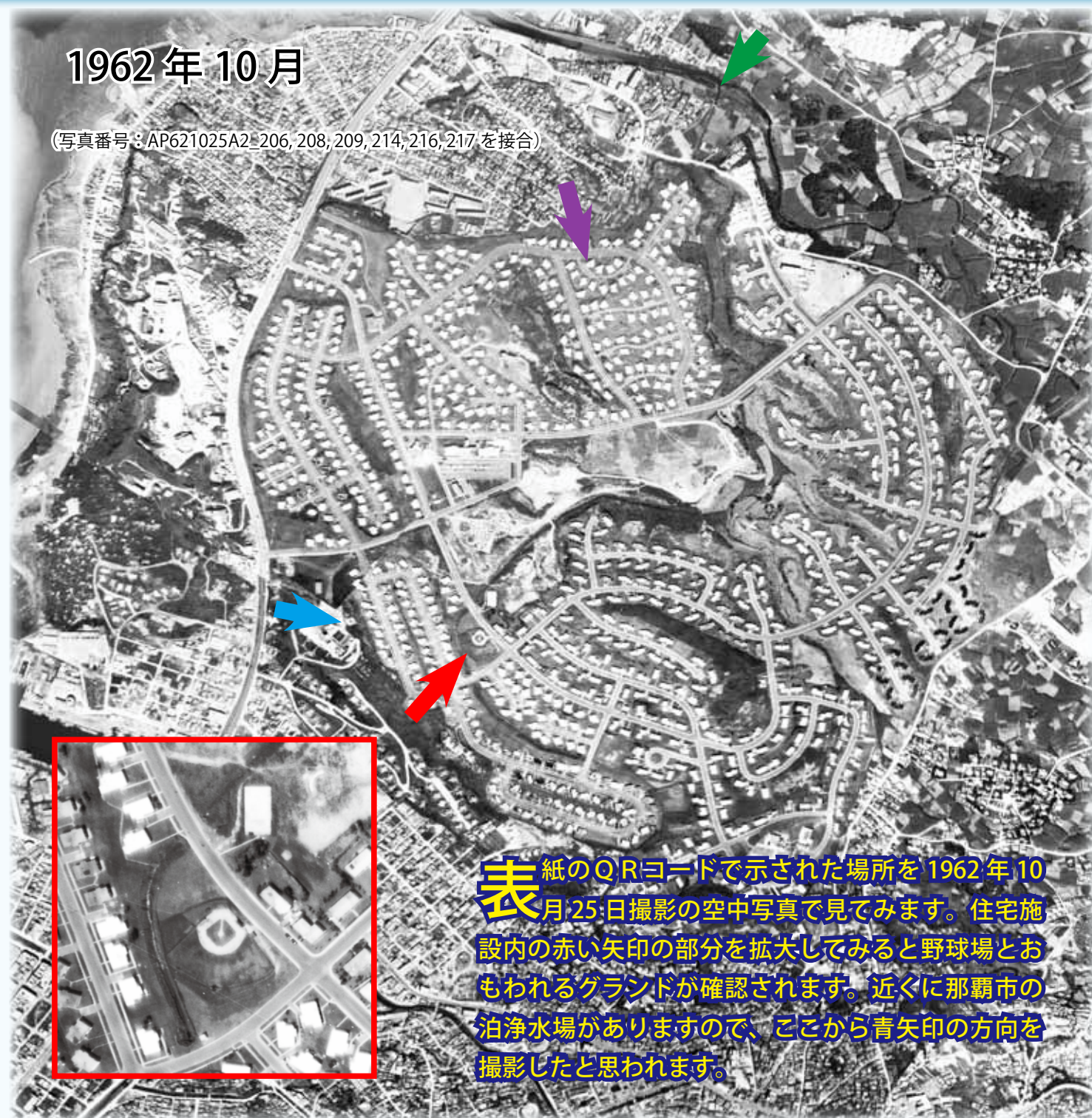
(写真番号：047653をカラー処理)

紙付さるさる市館蔵 .A

写真の遠景中央部には、首里にあったテレビ塔と琉球大学、首里高校と思われる建物が見えます。那覇の近くということになります。1961年頃は、現在の新都心には米軍関係者の住宅施設がありました。狭い那覇市街地と対称に、米軍住宅は広々とした敷地に建物があり、周りは芝生でおおわれ、別世界のような感じでした。琉球政府の写真ですが、政府職員でも施設内には簡単には入れません。どこから撮影したのでしょうか？ヒントになったのは背後の首里の風景と住宅地にみえる野球場（バックネット）でした。

1962年10月

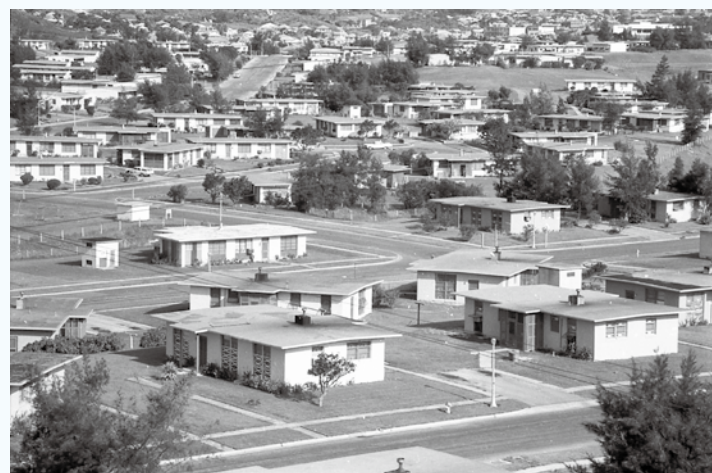
(写真番号：AP621025A2_206, 208, 209, 214, 216, 217 を接合)



『沖縄の米軍基地』（沖縄県渉外部基地渉外課，1975）によりますと、この住宅地は「FAC 6061 牧港住宅地区」と称され、昭和25年（1950）頃まで安謝、銘苅の住民が居住していましたが、米軍によって強制立退きさせられた、としています。表紙の写真に比較して、緑地が少ないことから、それより古い写真と思われます。背後に首里への坂道やテレビ塔がみえるので、左頁の空中写真の紫色の矢印付近から空撮したものと思われます。



① 泊浄水場からみた泊港付近（1961年）
(写真番号：047654)



② 住宅施設内（1968年）
(写真番号：056435)



③ 空中写真の緑矢印付近（安謝川）から米軍住宅方面を撮影したと思われます（1964年）（写真番号：005803）



④ 左側の一連の写真。安謝川下流方向（1964年）
(写真番号：005802)



前頁の矢印の位置を現在の地図（国土地理院）に落としてみました。米軍の住宅があった所は、現在的那覇市の新都心一帯になります。地図上の赤、青、紫、緑の矢印は空中写真とほぼ同じ位置になります。薄緑丸の位置には右写真のようなホテルがありました。



⑤琉球東急ホテル（1950年頃、推定場所：地図の緑丸付近）
（資料コード：0000033549）

昔おきなわ風景探索 No. 2

発行日：令和6年（2024）10月25日

編集執筆：当山昌直（1951年生）

発行：（公財）沖縄県文化振興会 公文書管理課

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町新川148-3 沖縄県公文書館内

電話（代表）098-888-3875 FAX: 098-888-3879

増刷版 ※一部修正しました

沖縄県公文書館デジタルアーカイブ

アメリカ統治下にあった頃の写真や空中写真を公開しています。

